

鹿島建設株式会社

所在地 東京都港区元赤坂 1-3-1

従業員数 8,854人

事業内容 建設事業、開発事業、設計・エンジニアリング事業ほか

(令和7年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2006年に着任した本社の現産業医は、健康管理センターにおける医療活動の充実を図るとともに、全国に散らばる支店や工事事務所に頻繁に出向き、全社的な健康管理活動の推進に注力してきた。その過程で、事業所が全国に散在し、多数の工事現場を抱えるという当社の特性から、社員全体の健康管理を大きく前進させるには、従来の方法だけでは限界があることを痛感していた。このような状況下、「従業員の健康保持・増進のための取組みは将来的に収益性等を高める投資である」とする健康経営の概念を取り入れることで、全社が一丸となって社員の健康の保持・増進を一層進めることができるものと確信し、健康経営の必要性を広く説くようになった。このような経緯により、2015年より本格的に健康経営に取り組むようになり、その後、グループ企業やサプライチェーンに対しても、健康経営に関する啓蒙活動を広く展開している。

特に力を入れた取組みとその効果

【健康増進 生活習慣病対策・食生活の改善】

現場勤務の社員が多いため、日常的に野菜摂取量の不足や食事バランスの乱れが懸念されることから、本社および首都圏支店・現場の社員を対象に定期健康診断の会場にて「ベジチェック測定会」を開催した。測定会には約700名以上の社員が参加し、「コンビニ食を上手に活用する方法」や「1日における効率的な野菜の摂り方」など、一人ひとりに対してフィードバックを行った。特に現場勤務の社員については、普段コミュニケーションを取る機会が限られているため、ベジチェックを通じて健康リテラシーの向上、および、保健師・看護師の顔を覚えてもらう良いきっかけとなっている。また、首都圏以外のエリアについては、各エリア担当者と連携し、社員の健康増進の促進などについて意見交換会を開催している。加えて、本社の産業医・保健師が各エリアの支店・現場に赴き、衛生講話や面談を実施し、全社的な取組みを推進している。



現場での講話の様子



ベジチェック測定会の様子

ホームページ

健康経営！サステナビリティ！鹿島建設株式会社